

地域言語学習コンテンツ制作・利用プロジェクトを核とした琉球諸語の復興研究

山田真寛（国立国語研究所 IR 推進室 特任助教）

研究計画立案の背景

日本国内には、アイヌ語と、日本語と祖語を同じくする八条語、6つの琉球諸語が存在し、これらの地域言語はすべて「今何もしなければ」今世紀中になくなってしまおう「消滅危機言語」であると UNESCO は報告している（Mosely 2010）。神事の祈り、唄や踊りなどの伝統芸能から、農業・漁業などの生業や気候の予測、日常の何気ない生活まで、地域生活のさまざまな側面で使われる地域言語は、地域文化の土台となるものである。地域言語の消滅は地域文化の土台を不安定なものとするだけでなく、社会の中から言語の多様性が失われ、異なる価値観を認めない画一的な社会へとつながる可能性がある。本研究が対象とする琉球諸語に関しては、2000年代に入ってから包括的な文法体系の記述が行われてきたが、流暢な母語話者がおおむね60歳以上であることを考慮すると、消滅危機言語の記述・記録は喫緊の課題であると言える。

琉球諸語が話されている地域では60歳以上の「祖父母の世代」は日常的に地域言語を使用しているが、言語獲得期にある子どもを含む20歳以下はほぼ完全な日本語モノリンガルとして育ち、地域言語の世代間継承が断絶している。しかし彼らの親の世代は、地域言語を流暢に話すことはできなくても聞いてほぼ完全に理解する、つまり受動的言語能力を持っていることは看過されがちである。彼らは地域言語の（再）習得にそれほど労力を必要とせず、また彼らの地域言語使用の増加は、子どもたちの地域言語インプット増加につながり、「今行動を起こせば」消滅危機言語の保存・継承、つまり復興を目指すことができる。本研究はこれを実現するための実践研究である。

研究方法

子どもや親の世代が琉球諸語を（再）習得しようと思っても、利用できるコンテンツはほぼ存在しない。また日本語共通語が支配的な現在は、地域言語は「役に立たない」と認識されている地域もある。そこで本研究は、子どもも彼らの親も楽しみながら地域言語を（再）習得することができるコンテンツの制作を行った。伝統的に文字を持たない琉球諸語を拡張ひらかなによって正確に書くことができる表記法を提案し、これを利用した、親しみやすい地域言語絵本などのコンテンツを制作した。コンテンツは外部の研究者・専門家が一方的に制作して提供するのではなく、地域コミュニティメンバーと協働して制作し、彼らがもっとも使いやすいデザインを考えた。さらにコンテンツ制作の過程を、言語記述トレーニングを協働するコミュニティメンバーに提供する場とすることで、今後地域コミュニティが主体的かつ継続的に言語復興の取り組みを行えるようになることも目指した。

結果・成果

主に共同研究者がこれまで文法調査のフィールドワークを行ってきた与那国島（沖縄県八重山郡与那国町）と沖永良部島（鹿児島県大島郡知名町・和泊町）において、地域言語の絵本や写真冊子、短いことばの解説がついたバッジやスタンプなど、多様なコンテンツを制作した。絵本は制作中のサンプル段階から読み聞かせ会や学校、幼稚園、学童施設などで利用され、流暢な母語話者や受動的言語能力を持つ「親の世代」、そして子どもたちが地域言語を使って遊ぶ活動に利用されている。また絵本の付録とした詳しいことばの解説や朗読CDを利用して、地域コミュニティ内で独自の二次創作もうまれている。さらに上述の地域で得られた経験を研究協力者と共有し、多良間島（沖縄県宮古郡多良間村）、竹富島（沖縄県八重山郡竹富町）においても地域言語絵本の制作を開始することができた。各地点の地域コミュニティが、本プロジェクトが制作したコンテンツやその制作・利用経験、地域言語研究者・作家・デザイナーなどの専門家リソースを共有して言語復興を行うプラットフォーム「言語復興の港」の基盤を構築することができたと言える。本研究の成果は国際学会（5th International Conference on Language Documentation and Revitalization）および国内学会（日本方言研究会第104回大会）で、研究者コミュニティとも共有している。

今後の課題

本研究が直接協働することができた地域コミュニティはそれほど多くなく、言語復興のしくみがそれぞれの地域コミュニティ内に浸透したとは言えない。今後は制作途中のコンテンツを完成させつつ、より広いコミュニティメンバーとともにその利用プロジェクトを展開する予定である。具体的には、本プロジェクトは沖永良部島の下平川小学校と、2017年度の夏休みの自由研究として各家庭で地域言語学習コンテンツ制作プロジェクトを行うことになった。すでに教員やPTA会長と協議を進めており、夏休み中に継続的にワークショップを行う予定である。